

令和 6 年度

「運営に関する計画」

大阪市立築港小学校

令和 6 年 2 月

大阪市立築港小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して3時間以上と回答する児童が60.9%もいた。これは本市の平均29.8%の倍にあたる。夜遅くまでSNS等をしているのが原因で寝不足となり、遅刻する児童もいる。保護者への啓発が必要である。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が、令和4年度は91.7%だったのに対し、令和5年度は、79.2%と大きく下回った。

経年調査で「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が、令和5年度は83.3%であり、令和4年度の70.8%を上回ったが、引き続き自尊心、自己有用感を高めたい。

令和5年度の全国学力・学習状況調査の算数科の平均正答率の対全国比は、0.96であった。令和5年度の小学校学力経年調査では、算数科は2学年が市の平均を超えたが、2学年が平均を下回った。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は75.0%で、令和4年度の54.2%を大きく下回った。

一人一台端末が整備され、各学年、スマートスクール「心の天気」の入力、相談機能やデジタルドリル「navima」の活用を進めてきた。各学級での実施頻度に差があるため、学校全体として取り組む必要がある。

第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合が55.6%で、令和4年度64.7%より下回った。

経年調査の「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童が69.7%で市平均の72.4%を下回った。また、学年により差がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

保護者と連携し、スマートフォン等を使用して、SNS、動画視聴、ゲーム等を3時間以上する児童の割合を30%以下にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

誰一人取り残さない学力の向上に向け、個に応じたきめ細かく継続した指導・支援を充実させ、今後4年以内に、全国学力・学習状況調査での平均正答率の対全国比を1.00以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において学習者用端末を毎日使用し、児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、子どもの理解を深めるとともに、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を行う。また、学校図書館などの学校施設の充実・整備を進めたり、地域、保護者と連携を深めたりしながら、地域全体で子どもたちを見守り、子どもたちの健全育成を図る。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

○本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して3時間以上と回答する児童を59%以下にする。

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を81%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を76%以上にする。

○学校アンケートにおける「健康に過ごすために、自分の決めた時刻に毎日寝て、朝も決めた時刻に起きることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を57%以上にする。

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。

○令和6年度の学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きです」に対して、肯定に回答する児童の割合を88%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の年度目標の達成状況については、次の通りである。

※学力経年調査の結果が2/13時点で届いておらず、学校アンケート結果で代用している。

【安全・安心な教育の推進】

○本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して3時間以上と回答する児童は46.2%で目標(59%以下)を達成することができた。

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を84.5%で目標(81%以上)を達成することができた。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より4年11.4ポイント減少(3人→1人)、5年9.0ポイント増加(4人→5人)、6年4.2ポイント減少(2人→1人)させることができた。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は65.1%で目標の75%以上は達成できていない。

○学校アンケートにおける「健康に過ごすために、自分の決めた時刻に毎日寝て、朝も決めた時刻に起きることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合は90.1%で目標(85%以上)を達成することができた。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の76.9%で目標を達成することができた。

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を75%で目標を達成することができた。

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は68.4%で目標(71%以上)を達成することができなかった。

○令和6年度の学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きです」に対して、肯定的に回答する児童の割合は97%で目標(88%以上)を達成することができた。

大阪市立築港小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 ① 本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して 3 時間以上と回答する児童を 59% 以下にする。 (令和 5 年度 60.9%) 46.2% ② 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 81% 以上にする。 (令和 5 年度 79.2%) 84.5%	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】 ・本校児童がスマートフォン等をどのように使用しているかを把握するアンケートを実施する。 ・年 1 回情報モラル教育を実施する。 ・毎月の学年だよりにスマートフォン等の使用時間やノーメディアウィーク等を掲載し、保護者に発信する。	A
指標 本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3 時間以上と回答する児童の割合を 59% 以下にする。 (令和 5 年度 60.9%) 46.2%	
取組内容②-1【安全・安心な教育環境の実現】 ・「いじめ (いのち) について考える日」や「いじめアンケート」の実施、またスクールカウンセラー、校長室のなんでも相談室、スクールライフノートの相談機能、児童の困りごとに対して様々なチャンネルを準備し、いじめの未然防止、早期発見に努める。	B
指標 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「とてもそう思う」と回答する児童の割合を 81% 以上にする。 (令和 5 年度 80%) 84.5%	
取組内容②-2【豊かな心の育成】 ・道徳教育、キャリア教育の充実や異学年との取り組みを通じて、自己肯定感・自己有用感の向上に努める。 ・「いいとこみつけ」「幸せ宝箱」の実践を通して、自分の良いところに気付かせる。	B
指標 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84% 以上にする。 (令和 5 年度 83%) 71.6%	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・スマホ使用アンケート実施し、児童のスマホ使用の実態を把握した。
- ・各学年、学習参観や出前授業などで、情報モラル教育を行った。
- ・毎月のノーメディアウィーク設定し、メディアの使用時間について考え個々に目標を設定し、生活の中で児童が意識することができた。また、学年だよりや学校保健委員会で、本校児童のメディアの使い方について現状を発信し、児童だけでなく保護者の方とも考える機会をつくった。家庭での取り組みも提案できた。

上記の取り組みにより、本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3 時間以上と回答する児童の割合を 46.2%まで下げることができた。

取組内容②－1

スクールカウンセラーや校長室のなんでも相談室などを効果的に活用し児童の困りごとに寄り添い、日々児童にいじめはどんなことがあってもいけないことをあらゆる機会を通して伝えてきた。また、児童理解ネットワークやケース会議を通じて児童の様子を全教職員で共有し、いじめの未然防止、早期発見に努めてきた結果、84.5%と目標を達成することができた。

取組内容②－2

様々な学年と合同でプール指導を行ったり、毎週たてわり班で児童集会を行い、秋にはたてわり遠足を実施したりしてきた。また、運動会では万博ダンスや「築港らんらんらん」を一緒に練習してきた。委員会企画の全校遊びなどでも計画的に異学年交流を進めてきた。キャリア教育、道徳教育、人権教育と様々な場面で自分の良さに気づくことができ、自己肯定感・自己有用感の向上に努めてきた。経年調査におけるアンケートでは、「自分に良いところはありますか。」に対して肯定的に回答する割合は、71.6%となり、指標の 84%以上を達成することはできなかった。

次年度への改善点

取組内容①

- ・スマホの利用時間については、今後ますます大きくなっていくと考えられるので、これからも、学校と保護者が連携、協力して解決していく。
- ・読書などとタイアップし、メディアを使っていた時間がこんなにも有意義に使えることを伝えていく。
- ・学校保健委員会では、保護者の参加人数を増やすために 1～3 年生の児童も参加できるようにするとよい。

取組内容②－1

スクールカウンセラーや校長室のなんでも相談室などの取り組みを継続して行っていく。児童理解ネットワークやケース会議などで児童の情報を共有し、多様な悩みを抱えた児童に対して、全教職員で様々な視点から支援できるようにしていく。

取組内容②－2

- ・幸せ宝箱の実践を、強調週間以外の時にも日常的に取り組めるような工夫が必要。
- ・自尊感情を高めるための研修を行うとよい。

大阪市立築港小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ① 小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を76%以上にする。 (令和 5 年度 74.2%) 65.1% ③ 学校アンケートにおける「健康に過ごすために、自分の決めた時刻に毎日寝て、朝も決めた時刻に起きることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(今年度新たに目標として設定)	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】 ・始業前の反復学習の取り組み等を通して、基礎学力の定着を図る。 ・算数科の学習において話し合い活動を取り入れる。	B
指標 小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 4 年 11.4 ポイント減少(3 人→1 人)、5 年 9.0 ポイント増加(4 人→5 人)、6 年 4.2 ポイント減少(2 人→1 人)	
取組内容②【健やかな体の育成】 ・運動委員会を中心に全校児童で体を動かす取り組みを行う。 ・なわとびタイムやかけあしタイムを設け、体育施設・体育用具を活用して進んで体力づくりに取り組み、運動することが好きな児童が増えるようにする。	B
指標 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「とても好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。 (令和 5 年度 74.2%) 65.1%	
取組内容③【健やかな体の育成】 健やかな体の育成には、まずその土台となる基本的な生活習慣の確立が不可欠であり、その最も重要なもののひとつが「睡眠」である。より良い睡眠時間の確保と生活リズムを整え、自らの健康課題に対して課題解決できる児童の育成をめざす。 ・月 1 回健康週間を設定し、睡眠、朝食の摂取、歯みがき、運動、メディア使用時間の調整について自分自身で目標を設定し、意識をして生活する態度を養うことをめざす。 ・学期末に振り返りをし、長期休業中の生活の目標を設定し、規則正しい生活リズムの崩れを防ぐための行動を促す。 ・より児童の行動変容につながる環境整備が図れるように、家庭啓発も行い、連携を密にする。	A
指標 ○学校アンケートにおける「健康に過ごすために、自分の決めた時刻に毎日寝て、朝も決めた時刻に起きることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(今年度新たに目標として設定) R6.7 月 76%、12 月 90.1%	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・朝の学習時間や昼の学習の時間に 5 分間ドリル、ナビマ、プリントやコグトレなどを計画的にくり返し行い、基礎学力の定着を図ってきた。
- ・考えを交流する活動を積極的に取り入れた。また、算数科を中心に、どの教科でもペアやグループでの話し合い活動を取り入れることができた。
- ・ペアやグループでの話し合いの仕方や時間等、学年の実態に合わせて工夫を行ってきた。

取組内容②

- ・1 2 月になわとびタイム・1 月にかけて足タイムを設定し、進んで体力づくりに取り組むことができるように計画、実施した。子どもたちが楽しんで運動に取り組む姿や、全体での実施日以外の休み時間も縄跳びを進んでしていたり、元気に走ったりする姿が見られた。また、今年度は学期に 1 回、運動委員会を中心に全校遊びを計画・実施し、楽しく運動できるような取り組みを行い子どもたちは楽しんで参加することができた。

取組内容③

- ・月 1 回の健康週間、ノーメディアウィークを計画的に実施することができた。また、目標設定においては、自分の生活をより良くしようと意識して、目標を考えることができ、実践へとつながった。
- ・学校保健委員会を開催し、児童の毎月の取り組みを、保護者にも知ってもらうことにより、家庭とも連携した取り組みにつなげることができた。

次年度への改善点

- ① 今後も朝や昼の学習を継続。今後も経年調査等の結果をもとに、苦手な分野を分析し、反復学習に取り組んでいく
- ② ・なわとびタイム、かけ足タイムでは、カードに記入するのみとなっているため、よくできていたことを発表するなどイベント性を持たせ、運動が楽しいものであると思える児童を増やす取り組みをする。
 - ・運動委員会の遊びでは短い時間でも楽しめる遊びを工夫して行うことを継続する。
- ③ 健康週間、ノーメディアウィークの取り組みを、今後も引き続き行うことで、自分の生活の質を高めようと意識する児童の育成を目指す。また、今年度は 4 年生以上の学年が参加した学校保健委員会ではあったが、1 年生から 6 年生までの全学年が参加し、全学年の保護者の意識を高められるような学校保健委員会の開催を考える。

(様式 2)

大阪市立築港小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ① 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70% 以上にする。 ② 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 57% 以上にする。 ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 71% 以上にする。 (令和 5 年度 70%) 68.4% ④ 令和 6 年度の学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にやる活動が好きです」に対して、肯定に回答する児童の割合を 88% 以上にする。 (令和 5 年度 87%) 97%	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・スマートスクール「心の天気」を毎日入力することや、指導者・児童が授業においてデジタル教材を活用することに努める。 ・デジタルドリル navima の宿題活用に取り組んでいく。	A
指標 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70% 以上にする。(事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) 4 月～1 月 76.9%	
取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・会議等の精選、週 1 回のゆとりの日の設定、スクールサポートスタッフによる業務削減、午後 5 時半に留守番電話設定をすることにより、時間外勤務の時間を削減させる。	A
指標 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 57% 以上にする。 (令和 5 年度 55.6%) 4 月～1 月 75%	
取組内容③【生涯学習の支援】 ・子どもたちが生き生きと読書を楽しめるよう、昼休み毎日 1 回の学校図書館を開放する。また、学級文庫を学期に 1 回以上設置し、読書に親しめる環境を整える。	B
指標 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 71% 以上にする。 (令和 5 年度 70%) 68.4%	
取組内容④【家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】 ・学校行事等に地域の方や保護者を年 5 回以上招き、学校・保護者・地域が協力し、子どもたちの健全な育成を図る。	A
指標 令和 6 年度の学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にやる活動が好きですか」	

<p>に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。</p> <p>(令和 5 年度 87%) 97%</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <p>・心の天気の入力が少しずつ定着し、デジタル教材や skymenu、Google のアプリケーションを積極的に活用することができた。また、ミニ研修会を適宜行うことで有効な ICT 活用法を伝達することができた。11 月・12 月には指標を 100%達成し、累計平均 76.9%を達成することができた。</p> <p>取組内容②</p> <p>・SSS による業務削減や会議の案件を事前に周知しておくことで、時間外勤務の時間を削減できた。</p> <p>取組内容③</p> <p>・毎日昼休みに図書委員会、金曜日は全休み時間を学校図書館司書が図書館を開放した。また、学級文庫を設置し本を定期的に入れ替えたり、港図書館と連携して長期貸し出しをしたり、読み聞かせボランティアによるお話会を行ったりして、本に親しめる環境を整えることができた。</p> <p>取組内容④</p> <p>・地域の方と連携をとり、協力して地域の方との活動を実施することができた。児童も積極的に取り組みを楽しむことができた。</p> <p>1 年・・・学習園(ヒマワリ)と植木鉢植え(アサガオ)</p> <p>2 年・・・学習園(サツマイモ)と植木鉢植え(ミニトマト)、町たんけん、芋ほり</p> <p>3 年・・・水上消防署見学、海遊館見学・アカデミー、そろばん教室、着衣泳</p> <p>4 年・・・そろばん教室、着衣泳</p> <p>5 年・・・たまねぎ収穫、着衣泳、伝統文化、サンタマリア号乗船</p> <p>6 年・・・たまねぎ収穫、着衣泳</p> <p>全学年・・・参観、引き渡し訓練、懇談会、築港らんらんらん、運動会、みかん狩り</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>① パソコン活用率を上げるために、心の天気だけでなく、今後も学びのポータルに児童が活用できるアプリなどを追加する。</p> <p>読み書きが苦手な子に対して、選択肢を広げるツールとして ICT を活用できるようにする。また、今後も適宜ミニ研修会を行うことで、教職員が ICT を活用できるようにする。</p> <p>② 時間外に持ち帰って仕事をしていてあまり変わっていない現状があるため、今後も働き方改革を工夫していく。</p> <p>③ 学校図書館司書が読み聞かせをしてくれた本を紹介するなど、子どもたちが本に興味を持つきっかけを作ったり、港図書館などと連携を図ったりして、本を身近なものとする。</p> <p>④ 今後も築港小学校独自の取り組みとして地域の方との活動を年間計画に位置付け、特色ある学校として発信していく。</p>	